

平成27年度 第2回

鳥栖市文化財保護審議会

1. あいさつ
2. 会長・副会長選出
3. 議 題
 - (1) 現地視察
 - ・文化財展示(市立図書館)ほか
4. その他

日 時 平成28年2月10日(水)
午後1時30～

場 所 鳥栖市役所南別館2階会議室

鳥 栖 市 教 育 委 員 会

現地視察資料

(1)現地視察経路

- ①文化財展示(鳥栖市立図書館2階展示ホール)
- ②田代太田古墳(石室内見学)
- ③安永田遺跡
- ④ヒャーガンサン古墳(石室見学)
- ⑤田代宿(車窓)
- ⑥鳥栖駅(車窓)
- ⑦瓜生野新町・瓜生野町(現秋葉町、本町、車窓)

(2)概要

①文化財展示

- ・2～3カ月で展示替えを行い、市が所蔵する資料や発掘調査の成果の公開を図る。
- ・展示実績

	タイトル	期間	内容
1	とす古代人の宝物	5月2日(土) ～6月30日(火)	縄文～古墳時代の遺跡から出土した装身具を中心に展示
2	平成26年度 発掘調査成果展	7月1日(水) ～8月10日(月)	平成26年度に本調査を行った内畑遺跡・姫方遺跡・儀徳遺跡の速報展
3	昔、戦争があった -旧田代町役場文書にみる 戦争-	8月11日(火) ～10月19日(月)	太平洋戦争時の兵事関係文書の展示
4	国史跡 勝尾城筑紫氏遺跡 -よみがえる戦国時代の山城 と城下町跡-	10月20日(火) ～展示中	勝尾城筑紫史跡の概要を記したパネルと出土遺物の展示

②田代太田古墳(石室内見学)

- ・昭和 52～53 年に保護施設建設
- ・昭和 63 年頃まで春と秋に一般公開を実施。その後、秋のみ公開。見学者は約 120 人
- ・平成 20 年からホルマリンによる石室内消毒実施
- ・平成 22 年から熊本県立装飾古墳館の協力を得て環境調査を実施

③安永田遺跡

- ・昭和 53、54 年に発掘調査を実施
- ・平成 20 年仮整備、安永田史跡公園として小、中学生の地域学習などに活用

④ヒャーガンサン古墳(石室見学)

- ・平成 10 年度に北部丘陵新都市開発事業に伴う発掘調査により装飾古墳と判明
- ・平成 11 年、現地保存が困難として解体、梅坂公園予定地内に保管
- ・梅坂公園内への復原が決定し、平成 13 年度基本設計、14 年度実施設計、15 年度復原工事
- ・解体時には復原時期が未定であるとして佐賀県の指導により石材表面に薬剤を塗布したため、随時見学可能な公開型の復原を行う。
- ・現在、12 月上旬に実施する「装飾古墳石室一般公開」で公開のほか、小学校の地域学習や市内外の団体・個人が見学。見学者数は、一般公開で約 100 人、その他では約 400 人
- ・平成 22 年度から熊本県立装飾古墳館の協力を得て環境調査を実施

⑤田代宿(車窓)

- ・伝統建造物調査(平成13～18年)を実施。

名称	所在地	建築年代	概要
八坂神社	田代新町	神殿 明治37年 拝殿・祝詞殿 大正15年	永禄6年(1563)小郡市より勧請
天満神社	田代外町	19世紀末	安永8年(1779)畠中より出現
西清寺	田代上町	本堂 元文5年 山門 19世紀初期	本堂は、棟札による(1740)

名称	所在地	建築年代	概要
メ野家住宅	田代昌町	明治4年	母屋桁墨書に銘あり
古賀家住宅	田代新町	19世紀中期	明治中ごろまで製蠟業 祈禱札から推定
津田家住宅	田代新町	主屋 大正5年 (棟木墨書) 門 19世紀初期 (推定)	旧代官所の通用門を移築したと 伝えられるが、確証はない。破風 飾りに対馬宗家の四ツ目結が残 る。
紅屋呉服店	田代上町	明治43年	棟木に銘あり
石田家住宅	田代大官町	明治18年(棟木銘)	かつて蠟絞り、質屋。裏手の蔵は 昭和15年(棟札)。
酒井家住宅	田代外町	明治28年(伝承)	

・田代文化財整理室 昭和29年建築

⑥ 鳥栖駅(車窓)

・明治36年建築、明治44年以降改築を重ねる。

⑦ 瓜生野新町・瓜生野町(現秋葉町、本町、車窓)

・伝統建造物調査

名称	所在地	建築年代	概要
権藤米穀店	秋葉町2	明治初期(推定)	
松本家住宅	秋葉町1	天保7年(棟木銘)	もと酒造家
大石家住宅	秋葉町1	天保9年(棟木銘)	昭和25年より薬局として利用した ため、表側は改造される。
篠原家住宅	本町1	19世紀末期	
権藤家住宅	本町1	明治後期(推定)	

